水野　武さん

（みずの　たける）
2017年度SCIX男子ラグビークラブ・キャプテン
西大和学園高校卒業
京都大学　法学部　進学

――ラグビーを始めたきっかけは？
ラグビーをしている幼稚園の友達に誘われたのがきっかけで、
幼稚園の年長から、地元のラグビースクールに行き始めました。
「ラグビーあるある」とも言えるんですが、体験の時は楽しくやって、
入会した後は結構厳しくなるというのがよくあるパターンで（笑）。
幼稚園時代も結構そういう感じで、「行きたくない」と言ったりすることもありました。
それでもラグビーが好きなので、今までずっとクラブチームでラグビーは続けてきました。

――SCIXラグビークラブに入ったきっかけは？
高校にラグビー部がなかったんです。中学からエスカレーター式の学校で、
高校にラグビー部がなかったので別の高校に進学しようか悩んだ時期もあったんですが、
結果的にそのまま高校に進んで、SCIXでラグビーをすることにしました。
学校では陸上部に所属していて短距離を専門にしていたので、
その練習や経験もラグビーに活かされたと思っています。

――SCIXラグビークラブの指導や環境は？
元トップリーグのプロとして活躍していた方が直接指導してくださるので、
その分得るものは大きいと思います。今のコーチが元FWなので、
練習量が少ないながらも、**FWのスクラム勝負で勝つことも**あります。
もう慣れましたが、**入部したての頃は、隣で練習しているスティーラーズの**
選手を見て興奮していました。僕らの親世代は、亡くなられた平尾さんはもちろん、
コーチの武藤さんの現役時代を知っていたりするので、親も興奮してましたね。

――SCIXラグビークラブの魅力は？
他の強豪校のチームとは違って、時間がとれるというのが
大きな魅力だと思います。学校にラグビー部が無くて、
ラグビーをしたい人が、ラグビーだけに縛られることなく、
僕のように色んなことに触れながらラグビーを続けられるというのが
一番大きな魅力ではないかと思います。
学校にラグビー部が無くて、遠方から来て真剣にラグビーをしよう！
という人も居ますし、**それぞれのレベルや考えに合わせてできる**のが
いいと思います。

――ラグビーのどういうところが好き？
ルールは沢山あるにせよ、1つの試合の中で、
ボールを蹴ったり、走ったり、ぶつかったり、
色んなことができて、身体を全力で動かせるというのが、
やっていて楽しいんですよね。

――SCIXで一番印象に残っているのは？
僕が高校2年の時のSCIXが強くて、**県大会でも上位校に勝ったり、**
セブンズ（7人制）の大会で関西学院高校にも勝てたことが印象に残っています。
「こんなに練習時間が少なくても勝てんねんぞ！」というのを見せつけられた気がして
嬉しかったですね。先輩たちも一生懸命で、それに僕らも着いて行こう！という感じで
一丸となってやった賜物だと思っています。

――勉学との両立、時間づくりの工夫は？
高校1、2年の間は特に自宅で勉強時間はほぼとっていませんでした。
兵庫の自宅から奈良の学校まで片道2時間ほどかけて毎日通学していたので、
通学時間を利用して勉強していました。あと、**授業中は居眠りしたことも一度もない**です。
授業で終わらせるつもりで、ただただ授業を真剣に聞いていました。
でも、**高校3年になってからはかなり勉強しました。**朝5時起床で、家を出るまでに1時間、
8時に学校着で始業時間まで1時間、16時まで授業で、そこから最終下校の18時20分まで
自習室で、帰宅後は眠くなるまで勉強し、眠くなったと同時に寝るという生活をしていました。

――大学でラグビーは？
京都大学進学後も続けます。部員が60名ほど居るそうですが、
1回生からメンバー入りを狙っています。現在、京都大学のラグビー部は、
Bリーグに復帰したばかりなんですが、京大より格上とされるチームを倒したいですね。

――2019ラグビーW杯で楽しみにしていることは？
小中学生時代に一緒にクラブチームでラグビーをしていた先輩たちが、
今もラグビーを続けていて活躍しているので、もし出場することになったら、その勇姿を観たいと思っています。

――進路については？
京都大学進学を目指して勉強はしてきたんですが、
筑波大学でラグビーをしようか、京都大学に進もうか迷っていて、
願書を出すギリギリに決断しました。
高校生活を送る中で、ラグビーや学業、さらに音楽（バンド活動）
にも熱中してきたので、それらを全て継続できる環境があるということで、
京都大学への進学を決めました。将来の明確な職業などは未定ですが、
グローバルに活躍したいと考えているので、在学中に留学もするつもりでいます。

――ラグビーを始めたのは？
幼稚園の頃、神奈川に住んでいて、
父に連れられて「横浜ラグビースクール」に
行ったのがきっかけです。父に確かめたことはないんですが、
おそらく父が学生時分にやっていたんだと思います（笑）。
小学5年生の時に、兵庫に越して来たんですが、
引っ越してからもラグビースクールに入って、
中学もそのスクールでずっとラグビー一筋です。

――スポーツする上で頭脳レベルは影響する？
中学時代のコーチが**「ラグビーはバカにはできない」**とよく言っていました。
頭は必要だと思います。何らかのプレーや、アクションを起こす時に意図や理由もなく、
本能のままに動くと、後になって自分でも理由がわからないので、
同じことを繰り返して、同じ失敗を続けてしまう可能性があると思うんです。
頭を使って考えてプレーすることで、同じようなミスをしなくなったり、
同じようないいプレーができるようになるように思います。

――進路については？
本当は経済を学びたくて文系に進みたかったんですが、
文系の成績が非常に悪くて（笑）。
理・数は良い時は偏差値80を越えるんですが、
国・英は塾にも通っていたのにも関わらず50代とかなんです（笑）。
理系だと実験や研究が好きなので、
理学部寄りの工学部に進むことにしました。
将来は研究者になりたいと思っています。

――今後ラグビーは？
大阪大学のラグビー部に入って続けるつもりです。
水野くんが進学する京都大学がBリーグに上がって、
大阪大学はCリーグに落ちたので、
Bリーグに返り咲きたいと思っています。
彼は実力的にも飛び抜けているので、
1回生からメンバーに入ってくると思うんです。
僕はフランカー志望なので、
抜けてきた彼を全止めして、
彼に一泡吹かせたいと思っています（笑）。

中川　祐輝さん

（なかがわ　ゆうき）
2017年度SCIX男子ラグビークラブ・ヴァイスキャプテン
宝塚北高校卒業
大阪大学　工学部　応用自然科学科　進学

――SCIXラグビークラブに入ったきっかけは？
中学の頃に父が見つけて来たので、ラグビースクールにも通いながら、
SCIXと掛け持ちでやっていました。高校からはSCIXだけです。
中学時代に掛け持ちしていた頃は、スクールではアタリをメインに練習していて、
SCIXでは高校生と一緒にやっていたので技術的なところをメインに練習していました。
高校生と一緒にできるので、スピードの違いなどを目の当たりにして刺激になりました。

――SCIXの指導については？
トップリーグ経験のあるコーチに指導してもらえるので、
色んなことを確認しながら納得しながら取り組むことができました。
高校では、ラグビーのための体力づくりという意味合いでハンドボール部に
入っていたんですが、きちんとした指導者が居るクラブではなかったので、
先輩たちに教えてもらいながら自分たちで試行錯誤しながら練習していました。
その点SCIXでは、**トップリーガーとして成功してきた人たちの基礎を受け継ぎ、**
信頼できる指導が受けられて、とても有り難かったです。

――勉強との両立の仕方は？
高校1、2年の時はほとんど勉強はしていませんでした。
家での勉強時間はゼロです。授業も受験に必要なところだけは聞いて、
それ以外は聞いてませんでした（笑）。
一応、高校1年から英語だけ週1で塾に通っていて、
高3からは国語と英語の文系の教科だけ塾で教わっていました。
それでも文系の成績は全然ダメだったんですけどね（笑）。
家では絶対勉強できないので、「気が散りながらやるくらいならしない方がいい！」
「家では勉強しない！」と決めていたんです。その代わり、夏休みなどは、
塾が始まる時間に行って、最後に帰るという生活をしていました。

――勉強の仕方のコツはありますか？
記憶力はまるでダメで、英単語は全く覚えられないんですが、
数学の公式は理論的に覚えているというか、身体で覚えているといった感じです。
勉強は集中力が大事だと思っていて、1時間勉強したら5分休憩するといった具合に
連続して勉強しないようにしています。**ノートは見返さないので、授業中もノートはとりません。**
授業は聞いているだけです。提出する必要があるものは仕方なく書きますが、基本的にメモはとりません。
授業を聞きながらノートをとっても、ノートを書きながらだと頭に入らないので。
わからないところは教科書を見返します。